2026年(令和8年)10月29日

令和7年度温室効果ガス排出状況・削減状況集計表

令和7年度(2025年度) CO_2排出量(施設分類別、エネルギー別)

(単位:t-CO_2)

施設分類	電力	都市ガス	LPガス	A重油	軽油(車両以外)	灯油	軽油(車両)	ガソリン	車の走行	合計
①行政施設	13	365	0	0	0	0	0	0	0	379
②文化施設	94	319	0	0	0	0	0	0	0	413
③福祉施設	41	239	55	0	0	0	0	0	0	335
④スポーツ施設	55	0	0	0	0	0	0	0	0	55
⑤学校施設	20	602	52	0	0	7	0	0	0	681
⑥消防施設	92	45	0	0	0	0	0	0	0	137
⑦一般廃棄物処理施設	0	141	2	0	0	0	0	0	0	143
⑧公園施設	30	0	1	0	0	1	0	1	0	33
⑨下水道施設	62	0	1	48	1	0	0	0	0	112
⑩その他施設	725	0	0	0	0	0	77	245	7	1,054
小計	1,134	1,711	110	48	1	8	77	246	7	3,341
合計	3,341									

端数処理の関係上、小計及び合計が一致しないことがあります。
※車の走行によるCO_2排出量は、走行距離に応じて発生する(燃料の燃焼による)CH_4排出量、N_2O排出量に地球温暖化係数を乗じて算出したものです。

令和7年度(2025年度)エネルギー使用量

施設分類	電力[kWh]	都市ガス[㎥]	LPガス[㎥]	A重油[L]	軽油(車両以外)[L]	灯油[L]	軽油(車両)[L]	ガソリン[L]
①行政施設	1,941,296	174,826	0	0	0	0	0	0
②文化施設	3,247,347	152,557	0	0	0	0	0	0
③福祉施設	1,576,259	114,217	8,465	0	0	0	0	0
④スポーツ施設	485,174	5	0	0	0	0	0	0
⑤学校施設	4,780,498	288,071	7,886	0	0	2,990	0	0
⑥消防施設	683,991	21,501	0	0	0	0	0	0
⑦一般廃棄物処理施設	990,125	67,325	244	0	0	0	0	0
⑧公園施設	123,683	0	75	0	78	186	0	580
⑨下水道施設	15,088,743	78	113	17,770	253	0	0	0
⑩その他施設	1,604,198	0	0	0	0	0	48,826	109,981
合計	30,521,315	818,580	16,783	17,770	331	3,176	48,826	110,561

事務事業編に基づく各施設分類別の温室効果ガス削減目標達成状況

施設分類	2013年度温室効果ガス排出量	2030年度目標排出量	2030年度目標削減率	2025年度排出量実績	現在の削減率	目標への進捗率	達成/未達成
①行政施設	1,448	625	56.8%	379	73.8%	130.0%	達成
②文化施設	2,303	667	71.0%	413	82.1%	115.6%	達成
③福祉施設	1,246	914	26.6%	335	73.1%	274.7%	達成
④スポーツ施設	835	589	29.5%	55	93.4%	316.7%	達成
⑤学校施設	2,427	1,773	26.9%	681	71.9%	267.4%	達成
⑥消防施設	399	256	35.8%	137	65.6%	183.3%	達成
⑦一般廃棄物処理施設	3,234	1,340	58.6%	143	95.6%	163.1%	達成
⑧公園施設	134	44	67.2%	33	75.4%	112.3%	達成
⑨下水道施設	8,255	5,778	30.0%	112	98.6%	328.8%	達成
⑩その他施設	1,335	934	30.0%	1,054	21.1%	70.3%	未達成
合計	21,616	12,920	40.2%	3,341	84.54%	210.3%	達成

令和7年度温室効果ガス排出量(基礎排出係数及び調整後排出係数):
3,341t-CO_2(2013年度比84.54%削減)

温室効果ガス排出量の算定方法は環境省が策定した「地方公共団体実行計画(事務事業編)策定・実施マニュアル(算定手法編)」に基づいています。

※令和5年度(2023年度)実績までは、電気事業者毎の基礎排出係数(※1)を用いて算出したものを温室効果ガス排出量としてきましたが、令和7年(2025年)3月付けで地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」が改正され、令和6年度(2024年度)実績から基礎排出係数に非化石証書やグリーン電力・熱証書及び再エネ電力・熱由来のJ-クレジットを反映した係数が用いられることとなりました。その結果、鎌倉市が使用している電気については、基礎排出係数と調整後排出係数(※2)に係数の差異が無くなったことから、一括の数値として集計を行っています。

※1基礎排出係数:電気の発電に伴う燃料の燃焼により排出された二酸化炭素の量を、当該電気事業者が供給(小売り)した電力量で除して算出した係数。
※2調整後排出係数:発電に伴い排出した二酸化炭素の量に、非化石証書等の環境価値を反映させた後の係数。電力事業者毎の販売電力メニュー毎に数値が異なる。